

～摂食・嚥下（NST）外来を受診する皆様へ～



☆摂食・嚥下外来とは

お子さんの食べる様子を見ながら、食べ方（口や舌の動き）や、飲み込みの様子などの評価をします。それにもとづいて、お子さんに合った食事（姿勢、食べ物の形態、使う道具、介助の方法、環境の設定、栄養の調整）を考えていきます。

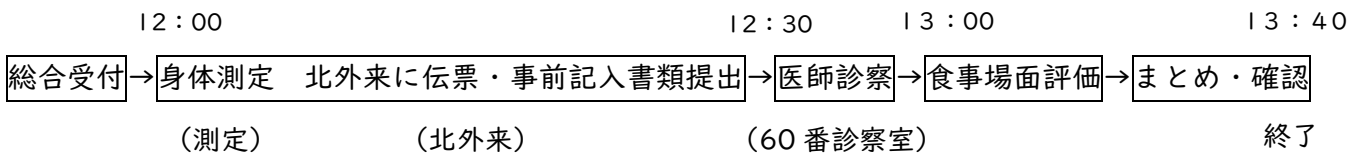
☆摂食・嚥下外来のメンバー

「食べること」をさまざまな視点からサポートするため、多職種でチームを組んで対応します。

メンバーは、リハビリテーション科医師、管理栄養士、リハビリテーション技術科スタッフ（理学療法士、言語聴覚士）です。

☆当日の流れ

〈全体の流れ〉



〈評価の流れ〉

前半の20分 (13:00～13:20)	医師から、診察の結果や現状を伝えます。 実際にお子さんが食べているところを観察します。
後半の20分 (13:20～13:40)	姿勢、食形態、食べ方、介助方法などについて、外来のメンバーで話し合いながら方針を立てていきます。

☆お願い

・実際に食事をしていただくため、13:20頃に機嫌よく、空腹であることが望ましいです。
昼寝の時間や、昼食、注入時間などの調整をお願いします。



・ポジショニング用のバスタオル（2～3枚）、フェイスタオル（1～2枚）の持参をお願いします。
姿勢の調整に利用します。厚めのバスタオルの用意をお願いいたします。足りない場合はこちらでお貸しできますが、有料となります。

（バスタオル1枚60円、フェイスタオル1枚40円、ハンドタオル1枚30円）

・外来終了後に、当日お伝えした内容を簡単に記載したものをお渡します。



☆事前記入書類

・問診票1枚/食事の記録表1枚：できるだけ受診日直前（1週間以内）にご記入ください。

☆当日の持ち物

<すでに離乳食を食べている・大人と同じような食事をしているお子さん>

事前記入書類（①問診票1枚 ②食事の記録表1枚）

普段お子さんが食べている食べ物や飲み物

- ・主食（例：お粥、白米、パン、麺）
- ・おかず（例：ペースト状、すりつぶした物、刻んだ物、煮物、ハンバーグ）
- ・おやつ（例：せんべい、クッキー、ビスケット、バナナ）
- ・飲み物（例：ミルク、お茶、野菜ジュース）
- ・食具（例：スプーン、フォーク、箸、コップ、皿、ストロー）
- ・白湯



タオル類（必要な方は筆記用具）

<これから離乳食を始めようとしているお子さん>

事前記入書類（①問診票1枚 ②食事の記録表1枚）

普段お子さんが飲んでいるミルク、搾乳など



重湯（お粥を炊いた時のうわずみ：半透明のトロっとした液体の部分）白湯

離乳食で使う予定のスプーンがあれば

（外来の中でも紹介しますので、急いで買って用意いただく必要はありません）

タオル類（必要な方は筆記用具）

※広めの部屋で大人数の場になります。人見知りのある場合などには、泣いたり緊張し、いつものようにお食事ができない場合もあります。すでに食事をしているお子さんでは、普段の食事場面の動画を事前に撮影しておいていただくと、当日の評価が難しい場合に、普段の様子を動画と一緒に確認することができますのでお願いいたします。

<お問い合わせ>

0263-63-6700（代表）

お電話の際に「リハビリテーション技術科の摂食・嚥下外来担当者へ」とお伝えください。

